

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高校	学年	3年	
教科	国語	科目	古典B	単位数 5
担当者	西田	亀澤	平田	落合
教科書	「古典B 古文編・漢文編」(数研出版)		副教材	「体系古典文法」「古文単語350」

○学習到達目標

基本的な文法と古文単語を着実に身につけ古文読解ができるようになる。
 様々な古典文学を通して、日本語の持つ言葉の美しさや日本の文化を理解して味わう。
 進路希望に対応できる学力を養成する。

○教科道徳教育到達目標

授業を通じて、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成することで、心情を豊かにし、思考力や想像力を伸ばすとともに、伝えあう力を高め、礼節をもって相手を尊重する態度を育てる。

○学習方法

評価問題や学習プリントを用いて、教科書の内容を精選して学習する。
 教科書の作品に関連するところから、日本文学史の概要を習得する。
 「古文単語350」を用いて、古文単語や古典常識を学習する。
 「体型古典文法」を用いて、古典文法を修得する。
 模試や実力考査前に、対策を行う。
 スタディープログラム、ICTを適時用いて効率的に学習をすすめる。

○グレード別授業の基準

A:国公立、福大、西南レベルの大学受験を目指す B:受験科目に古文を必要とする大学受験を目指す
 C:受験科目に古文を必要とする大学受験を目指すため、基礎力の定着を図る
 D:専門学校や公務員試験を受験するのに必要な学力の定着を図る

○指導計画(学習内容・考査等の予定)

小テストの出題範囲

- ・古典文法テスト、句法テストはスタディープログラムを中心に
 2年 3年
 一学期 各項目の④ グレードごとに適宜行う
 二学期 各項目の⑤
 三学期 各項目の⑥

・古語テストは、三陽Eラーニングから出題

・単元テストは、授業の内容を中心に
 出題

定期考査の予定(全グレード共通)

- 2年 3年
 一学期 【随筆】鴨長明『方丈記』 一学期 【和歌】/【歴史物語】『大鏡』
 二学期 【物語】紫式部『源氏物語』 二学期 【近世小説】『雨月物語』
 三学期 【軍記物語】『平家物語』

※以上の教科書の単元にあわせて、各小テストの内容を出題

○評価方法

各学期ごとに、期末考査・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (期末考査50% ルーブリック評価50%)

※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	評価段階				
	評価項目	A	B	C	D
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 古文単語、単元テスト 古典文法小テスト(助詞の基本、敬語について理解し、まぎらわしい語句を識別) 漢文句法小テスト(仮定、比較、選択、抑揚、限定・累加、詠嘆、願望、漢詩の句法) 	・各小テストの平均が80%以上である。	・各小テストの平均が65%以上である。	・各小テストの平均が50%以上である。	・各小テストの平均が50%未満である。
思考力・判断力・表現力等	<p>〔思考力・判断力・表現力等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと <p>活動ごとに配信される評価シートを基に評価する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら読み、作品の価値について考察することができる。 内容や解釈を自分の知見と結びつけて考えを深めることができる。 古典作品にあらわれるものの方の見方、考え方を踏まえ、自分のものの方の見方を深めることができる。 古典作品を多面的な視点から評価し、わが国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、社会生活の中から課題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 自分の考えが明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意して、構成を考えることができる。 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。 互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて捉え、要旨を把握することができる。 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて捉えることができる。 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	学習態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒との協同の中心となり、全体の理解を深める役割を担う。 発問に対して意欲的に考え、聞き手を納得させる根拠を持った発言をする。 発言を意欲的に聞き、自分の意見と比較し、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合う。 発問に対して意欲的に考え、発言する。 発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとする。 発問に対して意欲的に考え、発言しようとする。 発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとしない。 発問に対して意欲的に考え、発言しようとする。 発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つとしない。
	授業準備	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。
	授業中	各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。